

知内町涌元古銭の調査 - 第 1 報

中村和之・高橋直樹・高村耕平・高橋大翼・渡邊恵太・千葉元気

(函館工業高等専門学校)

1 知内町涌元古銭の概要

涌元古銭とは、1951 年(1952 年の可能性もあり)に、北海道南部の渡島半島に位置する知内町しりうちの涌元地区で道路工事の際に発見された古銭である。この古銭は、漆のようなものが塗られた方形の籠に入っていたというが、現在はその容器は残っていない。また、古銭自体もかなりの量が散逸してしまったようである。現在残っているのは 997 枚だが、もとはこの 3 倍ほどはあったという話である。涌元古銭を保管していた知内町の工藤勇治氏が、古銭を知内町郷土資料館に寄贈したのは 2006 年のことである(1)。函館工業高等専門学校の埋蔵文化財研究会(以下、函館高専埋文研究会と略称する)が涌元古銭を預かり、本格的に調査を始めたのは、昨 2008 年の初夏である。

2-1 知内町涌元古銭の銭種組成の調査

私たち函館高専埋文研究会は、まず涌元古銭から無作為に 100 枚ずつ 3 回に分けて銭貨を抽出し、拓本と写真を取って銭貨の種類を確定していった(2)。2009 年 2 月末までに、250 枚の調査を終えている。これまでの調査によれば、含まれている銭貨は、ほとんどが中国の銭貨で、一番古いものは、唐代の開元通寶(初鑄:621 年)、最新銭は明代の宣徳通寶(初鑄:1433 年)である。中国銭貨以外では、ヴェトナム・黎朝の天福鎮寶(初鑄:984 年)と日本の天元通寶(初鑄:1360±10 年)が 1 枚ずつ含まれている。最も枚数の多い銭貨は、永楽通寶(初鑄:1408 年)である。後掲の表 1 に、集計が終了した涌元古銭 250 枚について、銭種ごとの枚数と比率を掲げる。

2-2 知内町涌元古銭と函館市志海苔古銭との比較

涌元古銭を考察する場合、函館市の志海苔しのかのり古銭との比較は欠かすことができない。というより私たちが知る限り、北海道のある程度まとまった出土銭貨で枚数が明確にわかる例は、函館市の志海苔しのかのり古銭以外には留萌市コタン浜出土の古銭以外しかない(福士 1992)。志海苔古銭は、1968 年に志海苔館近くの道路拡張工事の際に発見された一括出土銭である。総計は 374,436 枚で、全国で最多の出土量である。銭種は 95 種類で、中国の北宋銭を主体とし、日

本の古代銭貨なども含んでいる。最新銭は、明の洪武通寶（初鑄：1368年）である。志海苔古銭が埋められた時期としては、14世紀末～15世紀前半が考えられている。

涌元古銭の250枚と、志海苔古銭の37万枚とを比較するについては、三宅俊彦が中国と日本の銭貨流通について採用した方法に従うことにした（三宅2005、イーヴリエフ・三宅2008）。図1に、涌元古銭と志海苔古銭の比率をグラフにしたものを掲げる。涌元古銭には、永楽通寶が22.8%も含まれている。全体の傾向としては類似しているとはいえるが、北宋銭の元豐通寶や元祐通寶では、やや違いが見受けられる。

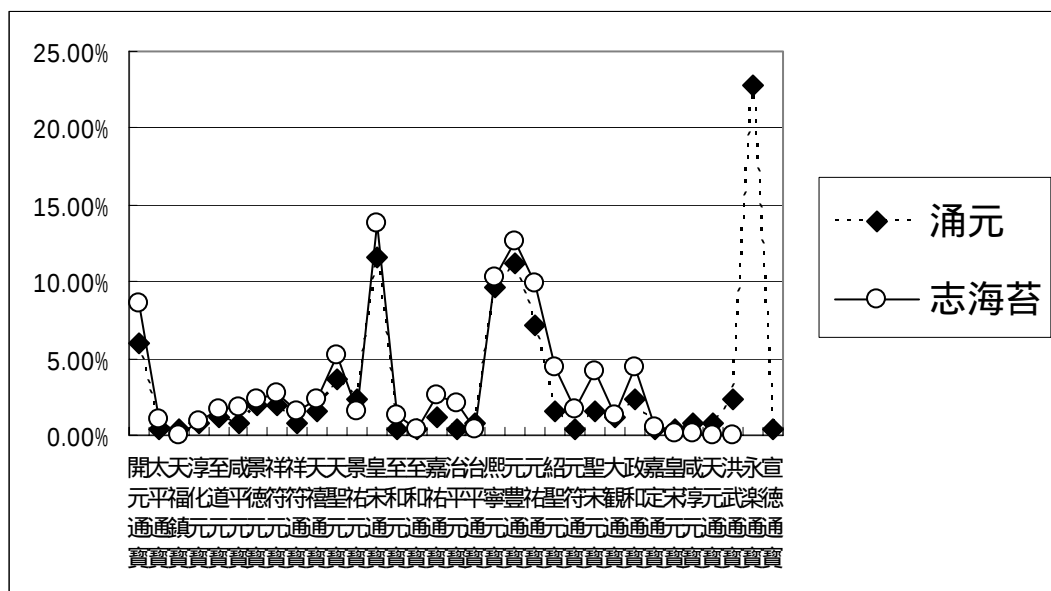


図1.涌元古銭と志海苔古銭の銭種比率の比較

次に、永楽通寶57枚と宣徳通寶1枚を除き、残りの枚数で比率を取って比較してみた。

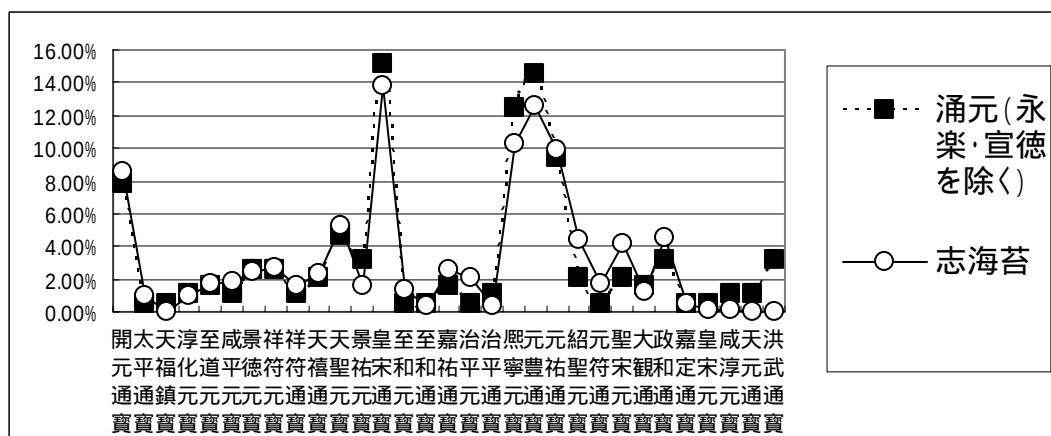


図2.涌元古銭（永楽・宣徳通寶を除く）と志海苔古銭の銭種比率の比較

図2にその結果を示す。図1に比べて、志海苔古銭の傾向により近似した結果が得られた。

3-1 涌元古銭に含まれる永楽通寶の成分分析

涌元古銭の永楽通寶を7枚選んで裏面を磨き、函館高専の低真空分析走査電子顕微鏡を用いて表面の半定量分析を行った。その結果を表2に示す。No_47では、銅の比率が99.83%という数値が得られた。

	銅	錫	鉛	ケイ素
No_11	81.13%	10.49%	7.69%	0%
No_14	81.62%	13.19%	5.18%	0%
No_19	84.34%	9.69%	5.97%	0%
No_42	74.97%	10.53%	14.5%	0%
No_47	99.83%	0%	0%	0.17%
No_48	77.28%	17.84%	4.88%	0%
No_89	82.65%	8.65%	8.7%	0%

表 2.永楽通寶の半定量分析結果

下に、No_47 の写真を掲げる。比較資料として、今回分析した7枚のなかでは最も銅の成分が少なかった No_42 も一緒に掲げる。上が No_47、下が No_42 である。No_47 は、銅の比率が高く、文字がつぶれている。日本で作られた私鑄銭（鋇銭）の可能性が高いのではないと思われる。

なお、No_47の銅の比率が99.83%であることについては、任意の1点を選んだ表面分析の結果であり、確実な数字とはいえない。今後、複数の点を測定して平均を取るなどの検証作業が必要である。



4 結論

これまで涌元古銭の組成の調査を行った結果、涌元古銭は、元もとは志海苔古銭と同じ組成であったのではないかと推定される。志海苔古銭が埋められた後になって、大量の永楽通寶が持ち込まれ、涌元古銭に加わったものと思われる。最新銭が宣徳通寶であることからみて、涌元古銭が埋められたのは15世紀後半であろう。

また、涌元古銭のなかに、銅の成分が高い永楽通寶が見つかったが、その評価については、今後、他の資料の分析結果を得てさらに考察を進めたい。

5 謝辞

本稿を草するにあたり、知内町郷土資料館学芸員の高橋豊彦様には、涌元古銭の借用や写真の提供などについてご援助をいただいた。また専修大学兼任講師の三宅俊彦様には、銭貨の調査方法や拓本の取り方などについてご指導いただいたほか、種々の参考資料も頂戴した。心より感謝申し上げます。なお本稿は、2008年12月7日に北海道八雲町のはぴあ八雲で開催された第29回南北海道考古学情報交換会での口頭報告「涌元古銭の分析と考察(1)」の内容に修正を加えたものである。当日は、高村耕平と高橋大翼が報告を担当したが、報告のあとで、会場の皆さまより有意義な指摘を頂戴した。あわせてお礼を申し上げます。

【注】

- (1) 涌元古銭が知内町郷土資料館の所蔵となったのは、2006年10月18日である。
- (2) 函館高専埋文研究会の2008年度の部員で、知内町涌元古銭の調査に携わったのは、3年生の加藤義貴・高橋大翼・高村耕平・渡邊恵太、2年生の澤田郁恵・横山歩惟、1年生の千葉元気・横山宣幸である。中村和之(一般科目人文系教授)と高橋直樹(情報工学科准教授)が顧問として参加したほか、竹内孝(技術教育支援センター職員)が低真空分析走査電子顕微鏡による銭貨表面の成分分析を担当した。ただし、本稿の文責を負うのは、共著者に名前を連ねた中村以下の6名である。

【参考文献】

- A.L.イーヴリエフ・三宅俊彦 2008「北東アジアの銭貨流通」(菊池俊彦・中村和之編『中世の北東アジアとアイヌ—奴児干永寧寺碑文とアイヌの北方世界—』高志書院)。
- 三宅俊彦 2005『中国の埋められた銭貨』同成社。
- 福土廣志 1992「留萌市コタン浜出土の渡来銭および本邦模鑄銭について」『留萌市海のふるさと館紀要』第3号。

表 1.涌元古銭と志海苔古銭の銭種組成

銭貨名	国・王朝	初鑄年	涌元			志海苔
			枚数	比率	比率	比率
				(全数)	(永楽・宣徳を除外)	
開元通寶	唐	621	15	6.00%	7.81%	8.56%
太平通寶	北宋	976	1	0.40%	0.52%	1.03%
天福鎮寶	安南	984	1	0.40%	0.52%	0.01%
淳化元寶	北宋	990	2	0.80%	1.04%	0.96%
至道元寶	北宋	995	3	1.20%	1.56%	1.72%
咸平元寶	北宋	998	2	0.80%	1.04%	1.88%
景德元寶	北宋	1004	5	2.00%	2.60%	2.39%
祥符元寶	北宋	1008	5	2.00%	2.60%	2.73%
祥符通寶	北宋	1008	2	0.80%	1.04%	1.58%
天禧通寶	北宋	1017	4	1.60%	2.08%	2.33%
天聖元寶	北宋	1023	9	3.60%	4.69%	5.26%
景祐元寶	北宋	1034	6	2.40%	3.13%	1.58%
皇宋通寶	北宋	1038	29	11.60%	15.10%	13.80%
至和元寶	北宋	1054	1	0.40%	0.52%	1.31%
至和通寶	北宋	1054	1	0.40%	0.52%	0.42%
嘉祐通寶	北宋	1056	3	1.20%	1.56%	2.56%
治平元寶	北宋	1064	1	0.40%	0.52%	2.05%
治平通寶	北宋	1064	2	0.80%	1.04%	0.34%
熙寧元寶	北宋	1068	24	9.60%	12.50%	10.24%
元豐通寶	北宋	1078	28	11.20%	14.58%	12.62%
元祐通寶	北宋	1086	18	7.20%	9.38%	9.94%
紹聖元寶	北宋	1094	4	1.60%	2.08%	4.38%
元符通寶	北宋	1098	1	0.40%	0.52%	1.68%
聖宋元寶	北宋	1101	4	1.60%	2.08%	4.20%
大觀通寶	北宋	1107	3	1.20%	1.56%	1.24%

政和通寶	北宋	1111	6	2.40%	3.13%	4.46%
嘉定通寶	南宋	1208	1	0.40%	0.52%	0.51%
皇宋元寶	南宋	1253	1	0.40%	0.52%	0.08%
咸淳元寶	南宋	1265	2	0.80%	1.04%	0.17%
天元通寶	日本	1361	2	0.80%	1.04%	0.00%
洪武通寶	明	1368	6	2.40%	3%	0.00%
永樂通寶	明	1408	57	22.80%	-	-
宣德通寶	明	1433	1	0.40%	-	-